

# 各プロジェクトの進捗状況

## 河川砂防技術研究開発(PC矢板事業)プロジェクト

**【プロジェクト設置の目的】**  
国土交通省の令和3年度河川砂防技術開発公募に当社の研究開発テーマが採択されたことにより、プロジェクトチームを編成し事業化に向けた環境整備を整える

**【プロジェクトの現況】**  
設計・施工マニュアルの作成及び国総研実験施設を使用した実証実験の実現を今期のゴールに定め、各ワーキンググループで出た課題の解決に取り組む



## リ・ブランディングプロジェクト

**【プロジェクト設置の目的】**  
現場技術者の誇りを復権して現場で働くことのステータスを皆が感じられ、技術系職員がこぞって自ら現場勤務を希望する職場をつくる

**【プロジェクトの現況】**  
職員アンケートにより出された課題の改善に向けて、一部取り組みの試行を開始。具体的には、現場職員に対する「家族の現場見学会の開催」「育児サポート制度の導入」「コミュニケーション教育の実施」など



## PCaPC工法の開発プロジェクト

**【プロジェクト設置の目的】**  
当社独自のPCaPC工法の開発を行うため

**【プロジェクトの現況】**  
『九州小竹工場リニューアル工事』において、職員用の新事務所をPCaPC構造とすることを決定し、施工に向けた打ち合わせを実施予定。また、性能評価取得に向けて申請を行うとともに、大臣認定の取得を予定している。

## カーボンニュートラル推進プロジェクト

**【プロジェクト設置の目的】**  
当社のカーボンニュートラルを実現するための施策や技術開発のロードマップを作成し、確実に実行すること

**【プロジェクトの現況】**  
「SBT(Science Based Targets)認定」の取得をゴールとして、当社各現場・工場及びグループ会社のCO2排出量の算出を進め、年内に完了予定である。その後SBT認定のコミットメントと申請準備に着手する予定である。CO2排出量提言施策として、現時点での工場における取り組みとしては、材料由来のCO2排出量を低減すべく、産業副産物を活用したコンクリートの開発、養生時の燃料の変更などを実施している。



## 工事利益改善プロジェクト

**【プロジェクト設置の目的】**  
VISION2025(VISION2030の中間ゴール)に定めた目標達成の具体的施策として、工事利益を改善するため

**【プロジェクトの現況】**  
市場環境の見通しと分析、工事利益管理の現状と課題の把握及び改善策の立案、遂行を行い、具体的な方向性である「1.営業生産性向上」「2.工事における直接原価低減」「3.工場における直接原価低減」を解決すべき3テーマと位置付けた。各テーマに沿った主要実行施策の立案・検討を行い、来期の売上高、利益目標額の進捗状況について、工事利益集計表を変更し、管理を行っている。